

事業所名

とらんびーに 児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

6 月

20 日

法人（事業所）理念		利用者やその家族が、ひかり輝きながら楽しく生きることを奏でられるようサポートをする。		
支援方針		利用者が日常生活や集団生活での困りごとが少なくなるよう、5領域の評価に基づき個別療育を主体に支援を提供する。		
営業時間		9 時 00 分から 17 時 45 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善をサポートするとともに、睡眠・食事・排泄などの基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。加えて、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。また、特性に配慮し、時間や空間を分かりやすく構造化します。		
	運動・感覚	身体機能や感覚処理の特性を理解し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作スキルの向上を支援します。また、認知の特性を踏まえて、環境調整等を行い、自信をもって活動できる力を育んでいきます。		
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促します。また、物の機能や属性、形、色、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、これを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。加えて、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに起因する行動の問題を予防し、適切行動への対応の支援を行います。		
	言語コミュニケーション	ことばやコミュニケーション能力を育むため、一人ひとりの特性や発達段階に合わせた支援を行います。簡単なことばから徐々に複雑な表現を使えるように支援し、コミュニケーションカードや指差し、身振りなどを活用して意思の伝達を促します。また、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりできるよう支援します。その他、特性に応じた読み書き能力向上のための支援を行います。		
	人間関係社会性	愛着形成や情緒の安定、人間関係や社会性の発達を支えるため、特性に応じた支援を行います。基本的な信頼感を育むことで安心感を確立し、遊びを通じて模倣行動や共同遊びへと発展させながら、他者との関係構築や社会的スキルを伸ばします。また、自己理解や行動調整を通じて仲間づくりや集団参加への土台を育みます。		
家族支援		個別支援場面の観察や面談の機会を通じて、具体的な対応方法などをお伝えし、共有します。また、きょうだいを含めた家族への相談援助を行います。	移行支援	本人や家族の意向を尊重し、保育所や他の療育施設との併行利用、入園・入学などのライフステージの切り替え準備など、将来的な移行に向けた支援を行います。
地域支援・地域連携		関係機関と情報を共有し、よりよい環境で成長できる基盤を整えていけるよう支援します。	職員の質の向上	事業所内研修の実施や外部研修への参加支援を行います。
主な行事等		適宜季節に合わせた活動や制作を実施します。		